

R4 開始

はま だし
浜田市（島根県）～主な品目～
水稲・野菜（にんじん 等）

実施体制

浜田市、島根県農業協同組合いわみ中央地区本部、旧農地利用集積円滑化団体、浜田市農業委員会、島根県農業共済組合、浜田地方農業士会、集落営農組織

面積情報

有機農業取組面積：47 ha 耕地面積に占める割合：2.0%

（令和3年度末時点）



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大（水稲）	R3年度 6 ha → R9年度 13 ha
有機農産物の販売数量の拡大（水稲）	R3年度 18 t → R9年度 30 t
有機農業に取り組む農業者数の増加（水稲）	R3年度 2人 → R9年度 7人（経営体）

2 有機農業を拡大していく上での課題

有機水稲栽培における雑草対策

拡大をはばむ雑草の紹介

・コナギ（5～11月）

【対策】

表層攪乱や濁り水による発芽抑制や、水田除草機で除草を行う。



▲コナギの繁茂

3 課題に対する取組のポイント・成果

- ・自動抑草ロボ（水田用自動抑草ロボット）による抑草
- ・水田除草機による除草

【取組による定量的な成果】

平均収量 R4：280kg/10a → R5：320kg/10a

ポイントとなる技術

自動抑草ロボ（水田用自動抑草ロボット）による抑草を基本とし、トロトロ層が形成されていないほ場については、補助として水田除草機による除草作業を併せて行い、雑草対策を強化した。



▲水田用自動抑草ロボット

4 主な取組内容

①生産

- ・地域内の野菜残渣と地元漁港で水揚げされた未利用魚等による堆肥の製造及び成分分析
- ・有機にんじんの機械化一貫体系の実証による作業の省力化
- ・水田用自動抑草ロボットによる水田抑草技術の実証



▲堆肥の製造（コンポストへ野菜の端材を投入する様子）

②加工・流通

- ・有機露地野菜の栽培実証で生産した野菜を用いて県外の加工施設へ出荷及び収益性の検証

③消費

- ・市内の小中学校を中心に、有機JAS認証を取得できない期間の農産物を給食で食材提供することによる子どもたちの食育や環境意識の醸成



▲有機にんじん機械化一貫体系（収穫作業）